

Cisco UCSとNexusでクラウドシステム基盤を一新



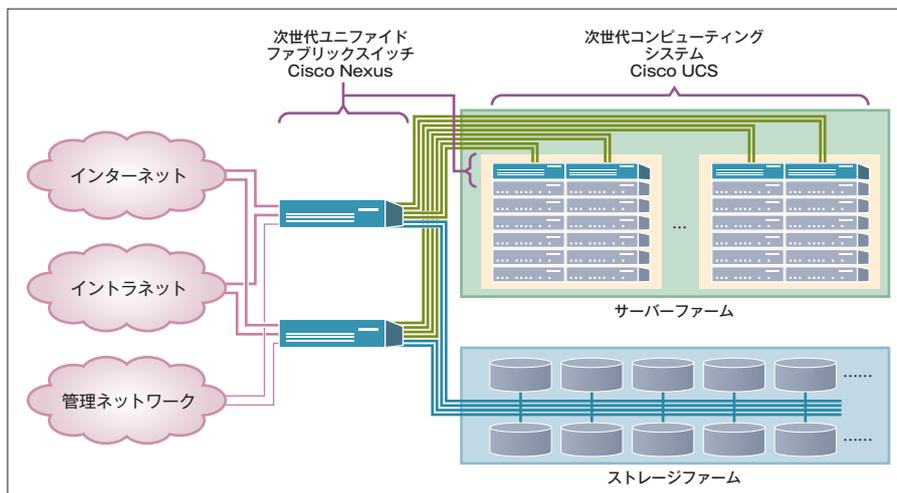
データセンタービジネスを展開するイーツでは、クラウドサービスのさらなる拡大のため、クラウドシステム基盤を一新。仮想化に最適化された次世代データセンタープラットフォームであるCisco UCSとCisco Nexusの組み合わせを選択したことにより、ソーシャルネットワークやソーシャルゲームなどのサービス基盤が要求する高性能と高信頼性を両立できるクラウド環境の提供を実現した。

システム概要 | Outline

イーツでは、従来のハウジング、ホスティングサービスに加え、2010年からクラウドコンピューティングのサービスを展開している。同社が提供するものはパブリッククラウド系サービスとは異なり、高負荷、高速処理、さらにはクラウドであっても高い運用性を求めるユーザーにも応えるプライベートクラウドサービスだ。イーツの顧客にはソーシャルネットワークやソーシャルゲームなどのサービス提供を行う企業が多く、大量ユーザーからのアクセスが一気に集中することもしばしば。そのような高度なユーザー要求にも応えられる、柔軟で高信頼性、高性能なシステムインフラを仮想化に適したテクノロジーを多く採用したCisco UCSと、高性能データセンタースイッチであるNexusを組み合わせることで実現した。

システムの特徴 | Features

- ハイパフォーマンスなシステムリソースを要求する顧客に柔軟に対応
- イーザーオーダー感覚で顧客の要望に柔軟に対応
- 仮想化テクノロジーを多く採用したCisco UCSで高性能を確保し物理サーバー数を削減
- 高負荷、高速処理にCisco Nexusの高密度10ギガビットイーサネットに対応
- ネットワーク機器、サーバーを同一ベンダー製品の組み合わせにより、高い安定性を実現
- ストレージを含めたワンストップの保守体制でトラブルへの迅速な対応が可能



Profile

株式会社 イーツ

1999年9月に創設した株式会社イーツは、ハウジングサービス、ホスティングサービス、マネージドサービスを中核に、さらにはクラウドコンピューティングサービスも加え、次世代のデータセンタービジネスをトータルに展開している。「お客様のITビジネスパートナーとして、安心と信頼のサービスを提供し、市場全体の成長に貢献します。」を経営理念とし、常に顧客視点に立ち、謙虚な姿勢を失うことなく誠実に事業活動を展開することを心がけている。単に安定した高性能なITシステムインフラを提供するだけでなく、高い運用性を求める顧客の声に耳を傾け、顧客の要望に柔軟に対応できるサービスメニューの提供が同社の特長となっている。

株式会社イーツ：
160-0022
東京都新宿区新宿6丁目24番16号
新宿6丁目ビル5階

電話：03-3207-1255
<http://www.i2ts.com/>



導入前の課題 | Before

ユーザーが離れてしまう

—— クラウドでも高性能／高信頼性、そして高可用性なサービスを提供したい

イーツでは、ハウジング、ホスティングのサービスを中心にデータセンタービジネスを展開、きめ細かい運用サポートを行うマネージドサービスで多くの顧客から支持を得てきた。ここ最近、迅速かつ低コストでシステムインフラを手に入れたいという顧客の要望に応え、新たにクラウドサービスも提供している。クラウドサービスの大半のユーザーはスピードとコストを優先するが、イーツの顧客であるゲームなどのソーシャルアプリケーションを展開するような企業では、クラウドでも高性能、高信頼性なシステムインフラを要求する。特定時間帯に一気にアクセスが集中するからだ。

ゲーム利用中に十分なレスポンスが得られなければ、ユーザーはそのサービスから離れてしまう。さらに、課金情報などの重要データを管理する必要もあり、これらの厳しい要件をすべて満たすことのできるシステムインフラの提供が、データセンター事業者には求められていた。急激なアクセスの集中に柔軟に対応するには、クラウドコンピューティングの容易な拡張性が効果的であり、同時にクラウドであっても高い信頼性と可用性がイーツには求められていた。

安定したシステムインフラを提供できる運用体制が必要

クラウドコンピューティングのシステム基盤では、仮想化の技術を活用することになる。物理サーバーとその上で動くソフトウェアが固定化していれば、システムの構成はそれほど複雑にはならない。しかしながら、ここに仮想化のレイヤーが加わることで、システムの構成は複雑化してしまう。複雑化するシステム環境の運用管理をいかに簡素化し、万一のトラブルが発生してもサービスに影響することなく迅速に解決することが必要となる。そのためのシンプルで堅牢なハードウェア構成と、それらのサポートを迅速に行える運用体制も、安定したサービスを展開するために必須だった。

導入後の効果 | After

Cisco UCSとNexusを組み合わせ高性能を発揮

イーツでは、高性能なクラウドサービスのために新たなシステム基盤を導入したかった。もし、トラブルで顧客のサービスが停止すれば、そのビジネスリスクは計り知れない。そのため「とにかく安定性の高い環境を選択した」と、営業本部販売推進部長の井手浩三氏。ネットワーク機器は専用メーカーをと考え、10ギガビットイーサネットのデータセンタースイッチCisco Nexusを選択。そして、サーバーは仮想化に適したテクノロジーを多く採用したCisco UCSを選んだ。同じベンダー製品を選ぶことで、より高い安定性を求めたのだ。結果的にこれらで、必要十分な性能を発揮する高信頼性のクラウド基盤が完成した。

10台前後を3台のサーバーに集約し、なおかつシステム性能を十分に引き出す

機器選定の際に、イーツでは事前検証を十分に行った。顧客企業のあるシステムが10台前後の物理サーバーで動いていたが、シミュレーションの結果3台のUCS上に仮想化集約できると判断し、実際にその構成で検証して十分な性能が発揮できることを確認した。UCSに大容量のメモリーを搭載できる点などが、仮想化環境での十分な性能発揮に貢献している。また、ネットワーク機器ベンダーのイメージが強く、これまでCiscoサーバーは未経験。当初その点が懸念されたが、現場エンジニアからは「何ら問題なく利用できる」との評価を得ている。

ワンストップでの保守窓口が迅速な問題解決につながる

システムに何らかのトラブルが発生した場合、その原因を探るための問題の切り分け作業は、マルチベンダー環境では最も苦勞するところだ。今回は、そういった課題を回避するためにも、サーバー、ネットワークスイッチをCiscoに統一した。事前にベンダーが接続確認を行っている組み合わせなので、その点もシステムの安定性向上に大きく寄与している。さらに、今回ストレージも含め、ユニアデックスがワンストップでサポートすることで、迅速なトラブル対応が行える保守体制も確立している。

お客様の評価 | Client's Voice

唯一変わらなかったユニアデックスのレスポンス—保守窓口一本化に柔軟対応

「今回ユニアデックスと仕事するのは初めて。弊社はこれまで様々なベンダーとざっくりばらんに話し合いながら、無理を聞いていただいていたが、その中でも唯一レスポンスが変わらなかった」と井手氏はユニアデックスの対応を評価する。導入後も大きなトラブルはなく、パフォーマンスも使い勝手も何ら問題はないとのこと。UCSとNexus、およびストレージが接続確認済みの組み合わせであり、短期間で導入できたことも評価ポイントとなっている。「Nexusの性能も期待していた通りで、UCSも安心して使える状態です」と井手氏。さらに、今回UCSとNexusというCisco製品に統一し「システム全体として保守性が向上し、トラブルの切り分けも楽になっています」と語る。ストレージを含む製品保守窓口をユニアデックスに一本化できたことも信頼性向上の点で高く評価しているとのことだ。



株式会社イーツ
営業本部 販売推進部長
井手 浩三 氏

丸紅グループの利点を活かして、廉価なネットワーク回線もセットした柔軟な構成で

イーツでは、クラウドだけを提供するのではなく、要望に応じハウジングやホスティングと組み合わせ、コスト的にも性能的にも顧客に最も適した構成を提案すること。そして、丸紅グループの利点も活かし、廉価なネットワーク回線もセットした柔軟な構成を提案したいとのこと。さらに、クラウドでもハウジングやホスティングで提供しているマネージドサービスを提供することで、「データセンターの運用管理サービスをクラウドでも提供する」と井手氏。その際には運用管理性の高さは重要で、今回のクラウド基盤は将来的にもそれに対応できる構成を構築できたとのことだ。